

第2回薬薬連携の会

第2部 意見交換会議事録

日時：平成30年10月17日（金）19：50-20：40

場所：多摩南部地域病院 第2会議室

1. 薬局における在宅について

- 退院時の具体的な調剤情報がほしい
 - ・ 輸液の調製の必要な場合、配合変化や混注の順番などを提示してほしい。
 - ・ 調剤方法が変更になった等、どういった経緯で変更になったか等、より具体的な調剤情報が欲しい
- 医師への同行は、具体的にどのように行っているか。
 - 自宅の場合は、医師に診察時間を教えてもらって同行している。施設の場合は時間が決まっているので、その時間に同行する。
- 退院時カンファレンスに必ず参加する薬局に務めていたが、その際、多摩南部地域病院では病院薬剤師がいたことはなかった。
 - 入院中に使用していた薬に疑問点があった際、医師には、薬剤師に聞くよう言われ、薬局窓口ではプライバシー問題で、すぐには教えてもらえず、時間がかかった。
 - 退院時カンファレンスに病院薬剤師がいればすぐに情報を得られる。
 - 薬局薬剤師は患者を目視して、ルートなどの確認できるすごくいい機会なので参加したほうが良い。
 - 病院薬剤師は退院時カンファレンスに呼ばれない現状があるため、重要性を認識していなかった。病院としても、薬剤師の予定は考慮されずにカンファが開催されている。**病院薬剤師が退院時カンファレンスに参加するよう、今後、検討していく。**
 - 調剤薬局と調剤方法が異なるのは病院の内規が原因である。これは、看護師が混乱しないように、同じ状態で調剤し、払い出すという病院の特性であるため、これを変更することに対しては、すぐには対応できない。
 - 薬局としては、内規の情報+変更可能との情報をもらえるだけでもよい。
 - お薬手帳は患者が見るため、記載できることに限界がある。病院薬剤師から薬局薬剤師に情報提供する退院情報提供書は、現在使用していない。
 - 病院のどこに連絡したらいいのか分からない。お互い気楽に情報を提供していったらいいのではないか。

2. 生保の後発医薬品の使用原則化について

- 多摩南部地域病院の方針は、積極的に後発品を使用する。
 - 薬局では患者が先発でといっても後発品を調剤するよう説明する。患者が納得しなければ、福祉保険事務所に連絡し対応してもらおう。薬学的に先発品を調剤する必要がある場合は疑義照会となる。

3. 前回の話合いの進捗状況報告

- 疑義照会した内容が次回までに変更されないケースが多く、何度も問い合わせが必要となっている件について、地域連携室、薬剤科宛に FAX を受け付け、病院薬剤師が電子カルテの付箋機能で情報提供する。
 - 現在 15 件、全て門前薬局からの FAX であり、カルテ記載を行った。3 件対応済。残りは保留、もしくは次回外来を迎えていない。

4. 腎機能等、検査値を処方箋に印字することについて

- 開示している病院としては立川相互病院がある。クリニックの開示はない。
- 現状
 - ・ 窓口にて検査してきたという情報があれば、患者に見せてもらって記載しておくが、翌日以降、処方箋を持参する場合は把握できない。
 - ・ 医師によっては、コメントに検査値を記載してくる場合がある。
 - ・ 開示している病院ではなく、違うクリニックに問い合わせすることがある。
- 薬局薬剤師としては検査値開示を希望する。
- 処方箋が見開きで、半面に検査値が掲載されており、患者が望まない場合は半分切って薬局に提出する方法があり、公社病院でも同様の運用をしている。
 - お薬手帳に検査値を貼ってはどうか。現在はシステムがないが、更新の際に提案は可能と思われるが、電子カルテシステムの会社には未確認であるため、今後、確認していく。
 - スクリーニングに利用する検査値として、退院指導時に患者の了承が得られれば、直近のデータを出すことはできる。
 - 病院薬局としては、腎機能以外の主要な検査値を開示できるように病院に働きかけていく。導入の際には勉強会も企画が必要となる。

5. 患者情報の共有について

- お薬手帳カバーにシールを貼る案、お薬手帳に患者情報の見開きページを挟む案がある。
 - お薬手帳カバーにシールを貼る案では、患者がカバーを使用していないので、難しい。お薬手帳に患者情報の見開きページを挟む案については患者が無くさない方策を考えれば役立つ情報である。
 - 多摩市医師会で作成している糖尿病手帳は両面テープで貼るタイプである。だが、これでは、はがせないのではないか。
 - 使い捨てのポケット+患者情報にするのはどうか。
 - サイズが小さいお薬手帳に対してはどう対応するか。
 - 電子お薬手帳の普及は？多摩調剤薬局は1～2人/週。推奨している薬局もあるため多い。数年後には普及するかもしれない。
 - 電子版のお薬手帳では、アレルギーなどを確認したことはなく、薬剤師が上書きするのは難しい。
 - 電子版、紙、両方に対しての対応が必要になるか。

平成30年9月14日

第2回

薬薬連携の会

第1部 薬局薬剤師講演

「当局における在宅業務内容と薬薬連携について」
コサカ薬局北口店 中村 幸子 先生

第2部 意見交換会

記

日時 平成30年10月17日(木) 19:15 ~ 20:30
場所 多摩南部地域病院 第2会議室
(TEL.042-338-5111)

~~~~~

### 当日の流れ

- 19:15- 開会のご挨拶(多摩市薬剤師会)
- 19:20- 第1部 講演会
- 19:50- 第2部 意見交換会
- 20:30- 閉会のご挨拶(多摩南部地域病院 松本薬剤科  
長)

問い合わせ先: 多摩南部地域病院 畠山  
[taku\\_hatakeyama@tokyo-hmt.jp](mailto:taku_hatakeyama@tokyo-hmt.jp)

# 前回の意見交換会より...

1. 疑義照会した内容が次回までに変更されないケースが多く、何度も問い合わせが必要となっている。

→ 地域連携室、薬剤科宛にFAXを受け付け、薬剤師がカルテの付箋で対応する。

→ まずは、患者に大きく影響するような疑義照会からFAX開始していく。

2. お薬手帳見開きページの活用について

アレルギー歴はお薬手帳のすぐにとどり着ける場所に記載していなければ意味がない。お薬手帳には患者のアレルギー歴記載場所があるが、実際活用するようにしているか。

→ 手帳カバーに貼付するシールのフォーマットを作成し、薬剤師会で共有する。

3. 腎機能低下の値をお薬手帳に書いてほしい

→ eGFRではなく、CCrが知りたい

→ 実際、院内で問い合わせにより変更が多いのも、腎機能による用量調節である。やはり介入していくべき。

→ その他、K値等も知りたい。

→ 多摩市薬剤師会で検査値開示において議論は持たれていないが、多摩南部地域病院が行ったアンケートによると賛否両論であった。

→ 責任を押し付けられても困るという意見もあった。

4. 院内で使用した注射剤の情報を知りたい。

→ (院内の2次システム調整にて)ラベルを出力して薬と一緒に払い出し、看護師から渡してもらう。

→ すべてに対応は不可能




安全で良質の医療の提供に努めていきます



## 第2回薬薬連携の会

(公財) 東京都保健医療公社 多摩南部地域病院 薬剤科

平成30年10月17日



## 生活保護における後発医薬品の 使用原則化に関する当院の見解

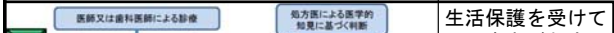



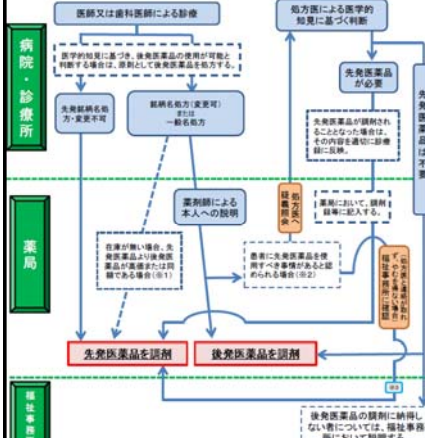
生活保護における後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用原則化についてご協力をお願い（平成30年10月1日～）

生活保護は、医師が後発医薬品の使用が可能であると判断された場合には、**原則、後発医薬品を使用**

【 生活保護を受けている方への処方について 】

- 後発品の使用が可能であると判断される場合には、**(薬局で) 取組内容を説明し、原則として後発品を使用**  
※先発品の使用が必要であると認められる場合は、先発品を処方可能  
(例外) ①在庫がない場合  
②後発品の薬価が先発品の薬価よりも高いと同額
- 一般名処方 or 後発品への変更を可とする銘柄名処方は、**原則として後発品しか調剤できない**  
→ 薬局で先発品を調剤する必要があると考えられた場合は、やむを得ない場合を除き、処方医に疑義照会が必要








生活保護を受けている患者が制度について理解できない場合  
→ 福祉事務所で説明

薬局で先発品を使う必要があると判断した場合  
→ 疑義照会

患者本位の理由の場合  
→ 福祉事務所へ



## 前回話し合われた事項の 進捗状況報告

疑義照会した内容が次回までに変更されないケースが多く、何度も問い合わせが必要となっている。

- 地域連携室、薬剤科宛にFAXを受け付け、薬剤師がカルテの付箋で対応する。
- まずは、患者に大きく影響するような疑義照会からFAX開始していく。

| 変更提案 | 薬局名    | 記載                        | 変更                                  |
|------|--------|---------------------------|-------------------------------------|
| 10件  | 多摩調剤薬局 | 9件 (1件はマスターがなかったため、登録申請中) | 3件 (4件は10/5の時点で外来受診、1件はレボフロキサシンの変更) |



Tamananbu Regional Hospital

院内で使用した注射剤の情報を知りたい。

- (院内の2次システム調整にて) ラベルを出力して薬と一緒に払い出し、看護師から渡してもらう。
- すべてに対応は不可能

2次システムの会社 (yuyama) に依頼するも、現段階では不可能とのこと。  
年度末に次期システムが導入されるので、その際に要望予定

Tamananbu Regional Hospital

腎機能低下の値をお薬手帳に書いてほしい

- eGFRではなく、CCrが知りたい
- 実際、院内で問い合わせにより変更が多いのも、腎機能による用量調節である。やはり介入していくべき。
- その他、K値等も知りたい。
- 多摩市薬剤師会で検査値開示において議論は持たれていないが、多摩南部地域病院が行ったアンケートによると賛否両論であり、責任を押し付けられても困るという意見もあった。但し、反対は1例のみ。

検査値を限定して出力できるか、薬に紐付けられるか

- ・ 現段階では不可能。病院も否定的だが、説得していく
- ・ 年度末に次期システムが導入されるので、その際に要望予定
- ・ 薬には紐付けられないので、項目は固定する必要あり

Tamananbu Regional Hospital

お薬手帳見開きページの活用について

アレルギー歴はお薬手帳のすぐにとり着ける場所に記載していなければ意味がない。お薬手帳には患者のアレルギー歴記載場所があるが、実際活用するようにしているか。

- 手帳カバーに貼付するシールのフォーマットを作成し、薬剤師会で共有する。

デバイスはどうするか？

- ・ 手帳カバーに貼るシール
- ・ お薬手帳とは別に、患者情報手帳のようなもの

今後の具体的な流れは？

## 第2回薬業連携の会アンケート

参加人数：薬局19名、病院8名：27名

回収18枚

### 1. 会場について、お答えください。

- |       |    |
|-------|----|
| ①広い   | 1  |
| ②狭い   |    |
| ③問題なし | 17 |

### 2. タイムスケジュールについて、お答えください。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 時 間：①短い         | 2                |
| 時 間：②長い         |                  |
| 時 間：③丁度いい       | 15               |
| 開始時間：①早い        | 3                |
| 開始時間：②遅い        |                  |
| 開始時間：③丁度いい      | 15               |
| → ベストな開始時間( : ) | 19:00 1          |
|                 | 19:15(19:00は×) 1 |
|                 | 19:30 3          |

### 3. この会では、病院薬剤師、薬局薬剤師、交互に講演会を担当しています。次回、病院薬剤師の担当になりますが、講演内容のリクエストがあれば、お答え下さい。

DIへのフィードバック例

がん患者の病院内での点滴、放射線治療について内服しかわからないのでぜひ教えてください

古川先生のケトン食について

今回の会でも話題になりましたが、“検査値と患者様”というような内容もお聞きしたいです

検査値の読み方、勉強会、見方・考え方について  
薬剤の内規の内容(理由)

3

少しずれていますが、疑義をすることで、する方は「こんなことだけど仕方ない」と思ってするケースもあります。疑義についてどう感じているのでしょうか。内規にどんなものがあるのか聞いてみたいです。

入院時の薬の調整、特に退院時の情報共有、連携について  
ハイパーサーミア、ケトン食  
輸液の調製

### 4. 薬局薬剤師担当回の、講演内容のリクエストがあれば、お答え下さい。

患者様との対応で気をつけていること  
残薬調整、ポリファーマシーの取り組み  
薬局勤務しながらの論文の書き方  
多職種連携の進め方、入り方について

### 5. その他、意見等ございましたら、ご記入ください。

2

部屋が暑かった

よりより薬剤提供を患者様にお届けできるような薬剤師でありたい

薬剤師だけでなく、多摩南部の医師からの講演も処方意図が理解できるのではないかと思います。

各店舗の代表意見が聞けたらいいですね

ジェネリックの方針が聞いてよかったです。今後も法改正等ある際には薬局でどのように対応すればよいか方向性がわかると助かります。勉強会どうもありがとうございました。

講演内容のリクエストはすぐには浮かびませんが、続けていただきたい会です。

すぐに検査値の開示が難しければ腎機能低下の患者さんになるべく検査値はかかりつけ薬局で見てもらってとお声がけしてもらえると助かります

机の並べ方円(または四角)にしてほしい、出席者の名札がほしい  
とても勉強になりました。日々の業務を行うにあたり刺激になりました。